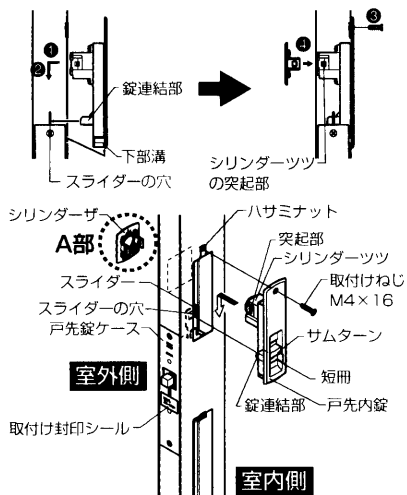


※本説明書は、施工後、お施主様にお渡しください。

■取付け順序

1 戸先錠(上側)の取付け方法

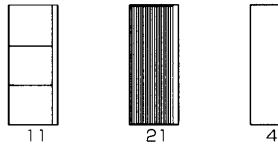
- ※戸先錠ケースを先に取付けてください。
- ①戸先内錠の錠連結部を戸先錠ケースのスライダの穴に差込みます。
- ②下部溝がアルミ材にひっかかるまで下方にスライドします。
- ③取付けねじ(M4×16頭部色付き)で固定します。
- ④シリンダーザを「上」刻印を上にして戸先内錠のシリンダーツツの突起部にはめ込みます。
- ※上下逆に取付けると破損のおそれがあります。
- ⑤サムターン部に差込んである短冊を破れない様に外します。
- ※戸先錠ケースの取付け封印シールは、戸先錠、把手を取付け後におはがしください。



※必ず最初に、本体デザインを確認してください。(図-1)(図-1)

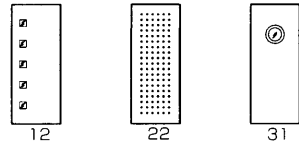
■本体デザイン框付きタイプ

- シリンダーザスペーサーを取付けしないでください。



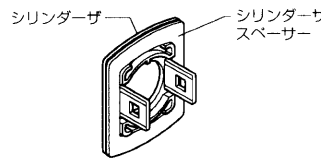
■本体デザイン框無しタイプ

- シリンダーザスペーサーを取付けてください。



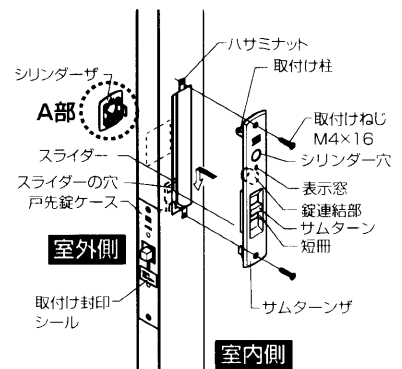
■A部詳細図

- 框無しタイプのみシリンダーザスペーサーを取付けてください。
- ※本体が框付きタイプの時にシリンダーザスペーサーを取付けてしまうと、シリンダーザが浮いてしまい、外れやすくなってしまいます。
- ※本体が框無しタイプの時にシリンダーザスペーサーを取付けていないと、シリンダーザがズレやすくなってしまいます。



2 お出かけサムターン(下側)の取付け方法

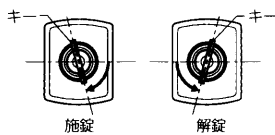
- ※戸先錠ケースを先に取付けてください。
- ①お出かけサムターンの錠連結部を戸先錠ケースのスライダの穴に差込みます。
- ②取付けねじ(M4×16頭部色付き)で2カ所固定します。
- ③シリンダーザを「上」刻印を上にしてお出かけサムターンのシリンダーツツの突起部にはめ込みます。
- ※上下逆に取付けると破損のおそれがあります。
- ④サムターンの部に差込んである短冊を破れない様に外します。
- ※お出かけサムターンの取付け封印シールは、戸先錠、把手を取付け後におはがしください。



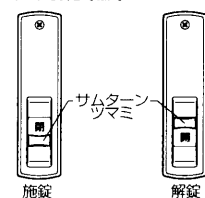
■施解錠操作方法

- ※本錠は、安全装置付きの為、障子が閉まった状態でないとサムターンの「開」「閉」操作はできません。
- ※本錠は調整が不要です。建付け調整をするだけで、施解錠操作ができます。
- ※枠の水平/垂直がズレていても調整せずに錠がかかるというものではありませんので躯体に対して、枠は水平/垂直を確認して適正に取付けてください。

●室外(キー操作)

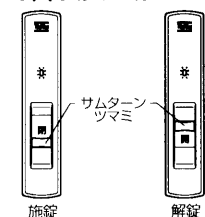


●室内(サムターンツマミ操作) 戸先錠(上)



- ※本錠は調整不要の機構を採用しており、戸先のチリ(枠と障子のすき間)が大きくても施解錠操作ができます。
- 施錠後に一度障子を閉め方向に動かすと、最適チリの状態で止まります。

●室内(サムターンツマミ操作) お出かけサムターン(下)



■お出かけサムターン操作方法

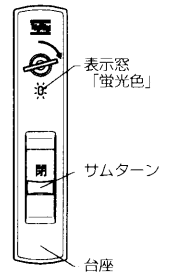
- 本お出かけサムターンは、外装用の鍵(施主キー)で内錠のシリンダーを操作することでサムターンをお出かけ状態にセットすることができます。

【お出かけ状態】

- サムターンを操作しても施解錠操作ができない状態。(外出時など、ガラスを壊されても解錠操作ができない為、不正侵入を防止できます。)

＜お出かけ状態のセット方法＞

- ①鍵を室内側のシリンダーに差込み、右に回転させます。
 - ②表示窓の色が「蛍光色」に変わります。
 - ③鍵を水平に戻して抜きます。
- ※セット後は、サムターンで施解錠の操作はできません。

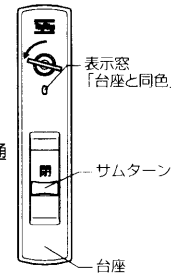


【通常状態(お出かけ解除)】

- サムターンを上下に操作すると施解錠ができる状態。

＜お出かけ状態の解除方法＞

- ①鍵を室内側のシリンダーに差込み、左に回転させます。
 - ②表示窓の色が「蛍光色」から「台座と同色」に戻ります。
 - ③鍵を水平に戻して抜きます。
- ※サムターンをゆっくり上にあげると解除されます。(通常状態になります。)



- ※お出かけ状態の時は、サムターンの表示が「閉」であっても、施錠されていないおそれがありますので、就寝時などは、施錠されているかを確認してください。